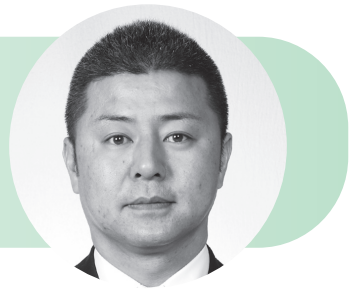


早川 公二 議員



十四山東西公園は防犯面から見通しに工夫を

◀ 十四山東公園（西峴地内）



東公園も同様に見えない状態である。

子どもたちの公園に対するイメージや、暗くて怖い、不審者が出そう、余り遊ぶ遊具がないなど、リアルな声を聞いたことがあるか。

(3) 防犯の面から考え、もっと明るく、安心して安全に遊べる公園に変えてほしいがどうか。

(4) 西公園は滑り台もあるが、老朽化しており、改修するより替えた方がいいのではないか。

視界確保の観点で整備する

答 児童課長

(1) 日頃の管理は、遊具点検、樹木管理、トイレ清掃を行っている。

安心して、少人数でも遊びに来てもらえると考えている。

(2) 21年に子育て支援ニーズ調査を実施し、安心して遊べる公園整備などの要望もあったが、保護者の意見で、直接子どもたちの声を聞いたわけではない。

そこで、25年度実施予定の子ども・子育て支援事業策定計画前のニーズ調査の中に、実際に子どもがどう思っているのか、反映する調査項目も盛り込みたい。

(3) 不審者情報が年々増加しており、公園も、防犯の視点から配慮していくことが必要だと考えている。

今後は、外からある程度公園が見渡せる視界の確保という観点で、公園内を整備し、安心・安全な公園を目指していきたい。

(4) 遊具は定期点検を行っており、適宜悪い所は修繕し管理しているが、老朽化が目立つ遊具もある。今後は遊具の更新も考えていきたい。

十四山地区公園の防災公園化を

問

防災公園について聞く。

(1) 市内に、防災設備を備えた公園は何箇所あるのか。

(2) ひので公園は、どんな防災設備が付いているか。

(3) 今後、十四山地区の公園を、防災設備を備えた公園に変えていくことは考えていないか。

今後の課題と思っている

答 防災安全課長

(1) 大藤学区防災広場は高上げし高さのある広場、もう1カ所はひので公園で、計2カ所である。

(2) かまどとして使えるベンチや、マンホール型のトイレがある。

(3) そういった機能を持たせるのは、今後の課題と思っている。

問

十四山東公園、西公園について聞く。

(1) 子どもが安心して安全に遊べる状態か、少人数でも遊びに行けるか、現状を把握しているか。

(2) 西公園は（樹木で）道路から見えず、見渡せない。